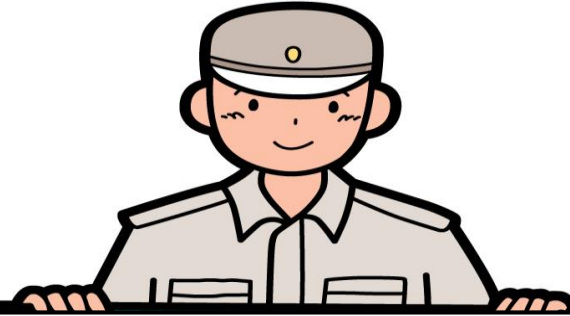




予防救急だより

春号（第3号）
平成30年4月
発行：消防救急課
(51-3101)



毎年15,000件以上の現場へ出場する救急隊員の声！

- ◆ 普段からのちょっとした工夫で予防できることも…
- ◆ ケガや熱中症などの傷病を正しく理解してもらいたい
- ◆ 救急事故が発生する原因を知って欲しい
- ◆ 今回の特集は……裏面にくわしくご紹介！

予防救急に対する意識が一層高まることを願っています！

《実際にあった救急事例を参考に対策を！》

【転倒防止】

事例：段差につまずき転倒、股関節を骨折

- ・ 室内の段差をなくす。
- ・ 手すりを設置する。
- ・ 部屋の整理・整頓をする。



【入浴時の事故防止】

事例：浴槽に顔が浸かった状態で発見

- ・ 入浴する時は家族に声掛けする。
- ・ 事前に浴室を温める。
- ・ 入浴中は家族が時々声を掛ける。



【窒息・誤嚥防止】

事例：食べ物（もち・ゼリーなど）がのどにつまった

- ・ たくさんの量を口に入れない。
- ・ ゆっくりよく噛んで食べる。



【火傷防止】 着衣着火

事例：調理中に衣服が燃えて大やけど

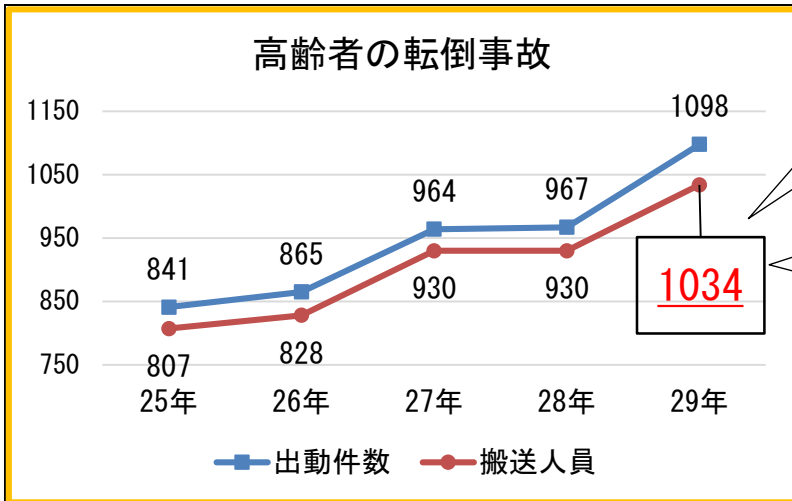
- ・ 火を使うときは袖や裾が広がっている服は避ける。
- ・ 火のついたコンロ越しの作業は行わない。



～春号のトピックス～

高齢者の転倒事故が増えています

高齢者の転倒事故は、毎年増加傾向にあります。豊橋市では、平成 29 年中に救急搬送された高齢者（7,749 人）の約 13%が転倒事故によるもので、前年を 100 人ほど上回る 1,034 人が搬送されています。



このうち 433 人が入院！
全体の約 42%です。

このうち 412 人が骨折！
全体の約 40%です。



★転倒事故が多いのは住宅！！

転倒事故の多くは、実は住宅で発生しています。全体の約 66%、724 件にもものぼります。

このことから、骨折を伴うような重大な事故が、身近な場所で多く発生していることがわかります。



- ・寝室、居間、玄関、トイレなどで転倒
- ・お酒を飲んで転倒

- ・散歩中、買い物中に転倒

- ・階段で転倒、転落
- ・ベッドやイスから転落
- ・脚立に乗って作業中に転落

高齢者の転倒は重大な事故につながります。

【救急隊コメント】 予防対策として、家の中や家の周りの段差をできるだけなくし、手すりを付けるなどのリフォームが有効です。物を片付けて、つまずく原因を取り除きましょう。また、日頃から下半身を中心とした運動やウォーキングなどで足腰を鍛えましょう。

